

# 産業活力

# 施策別 行政サービス成果表

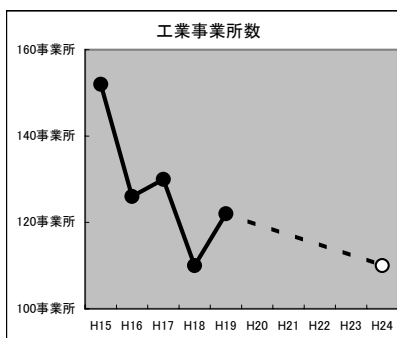
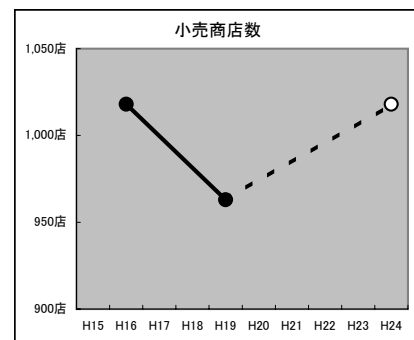
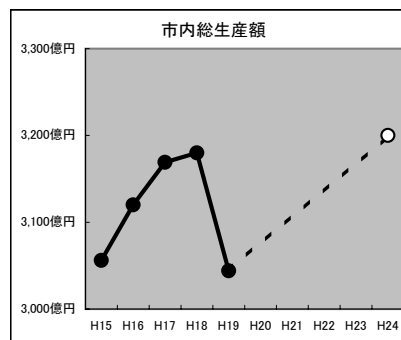
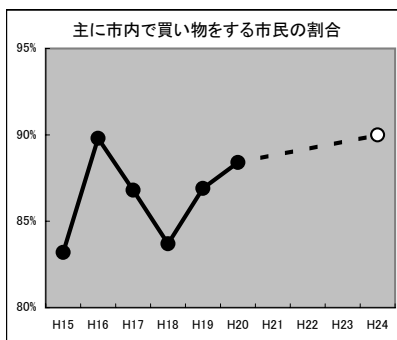
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	01 産業	コスト 合計	235,874千円					235,874千円
目標	01 商工業を振興します。							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
商工振興事業	17,435千円	0千円	0千円	17,435千円	市民生活部 商工・観光課
中小企業支援事業	171,704千円	18,986千円	0千円	190,690千円	市民生活部 商工・観光課
中心市街地活性化推進事業	9,445千円	9,493千円	0千円	18,938千円	まちづくり部 市街地・空港周辺整備課
定額給付金給付事業	8,811千円	0千円	0千円	8,811千円	市民生活部 商工・観光課

## 【施策評価指標】

評価指標		実績値					目標値
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 主に市内で買い物をする市民の割合	指標値	86.9%	88.4%				90.0%
	定義/方向性	市民実感調査より/高める					
	所管	市民生活部 地域活性化室 商工・観光課					
2 市内総生産額	指標値	3,044億円					3,200億円
	定義/方向性	兵庫県市町民経済計算より(市町内GDP)/増やす ※H19年度の数値は速報値。H20年度の数値(速報値)はH22年1月頃公表予定					
	所管	市民生活部 地域活性化室 商工・観光課					
3 小売商店数	指標値	963店					1,018店
	定義/方向性	商業統計調査より/維持する ※同調査は5年に1度実施される(中間時に簡易調査あり)。					
	所管	市民生活部 地域活性化室 商工・観光課					
4 工業事業所数	指標値	122事業所					110事業所
	定義/方向性	工業統計調査より(4人以上の工業事業所数)/維持する ※H20年度の数値はH22年1月頃公表の予定					
	所管	市民生活部 地域活性化室 商工・観光課					



## 施策別 行政サービス成果表

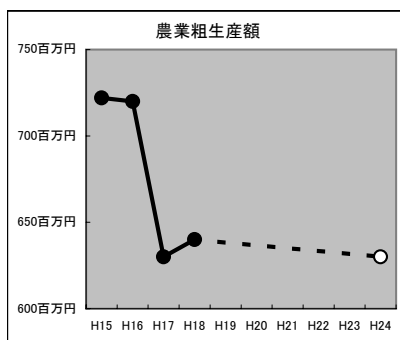
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	01 産業	コスト 合計	96,659千円					96,659千円
目標	02 農林業を振興します。							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
農林業総務管理事業	3,215千円	0千円	0千円	3,215千円	市民生活部 農林・労政課
農業共済事業特別会計繰出金	19,466千円	0千円	0千円	19,466千円	市民生活部 農林・労政課
林業振興事業	122千円	0千円	0千円	122千円	市民生活部 農林・労政課
農業振興事業	7,263千円	18,986千円	0千円	26,249千円	市民生活部 農林・労政課
農業用施設改良事業	15,143千円	0千円	0千円	15,143千円	市民生活部 農林・労政課
農業委員会運営事業	13,478千円	18,986千円	0千円	32,464千円	農業委員会事務局

### 【施策評価指標】

評価指標	指標値	実績値				目標値	
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 農業粗生産額	指標値						630百万円
	定義/方向性	農林水産年報より(農業産出額)/維持する ※H19年度から兵庫県が市町別の数値の公表を取りやめた。					
	所管	市民生活部 地域活性化室 農林・労政課					



## 施策別 行政サービス成果表

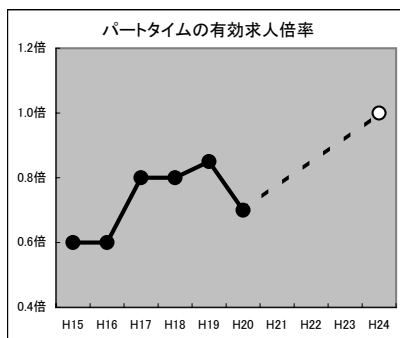
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	02 労働	コスト 合計	20,431千円					20,431千円
目標	01 働きたい人が働ける環境をつくれます。							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
労働相談事業	7,917千円	0千円	12,514千円	20,431千円	市民生活部 農林・労政課

### 【施策評価指標】

評価指標	指標値	実績値					目標値
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 パートタイムの有効求人倍率	0.9倍	0.7倍				1.0倍	
	定義/方向性	有効求職者数に対する有効求人数の割合(伊丹管内)/高める					
	所管	市民生活部 地域活性化室 農林・労政課					



## 施策別 行政サービス成果表

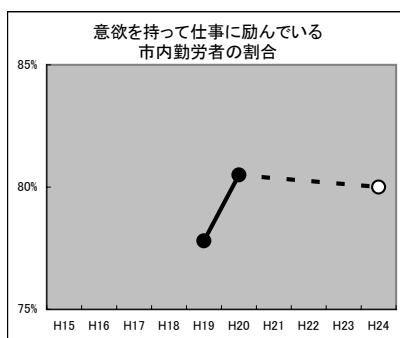
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	02 労働	コスト 合計	50,043千円					50,043千円
目標	02 勤労者の労働意欲を高めます。							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
労働者支援事業	31,057千円	18,986千円	0千円	50,043千円	市民生活部 農林・労政課

### 【施策評価指標】

評価指標		実績値					目標値
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 意欲を持って仕事に励んでいる市内勤労者の割合	指標値	77.8%	80.5%				80.0%
	定義/方向性	市民実感調査より/高める					
	所管	市民生活部 地域活性化室 農林・労政課					



## 施策別 行政サービス成果表

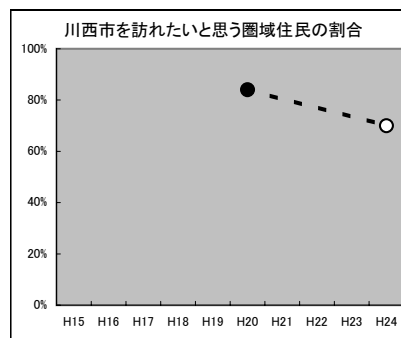
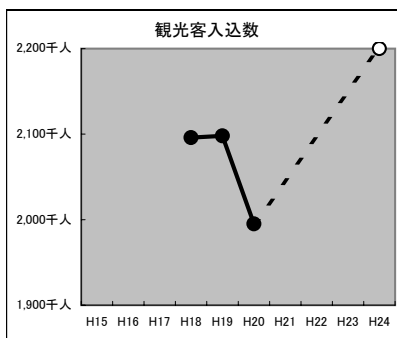
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	03 観光	コスト 合計	85,539千円					85,539千円
目標	01 観光資源を発掘・開発・PRします。							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
観光推進事業	1,327千円	13,435千円	0千円	14,762千円	市民生活部 商工・観光課
イベント支援事業	8,545千円	9,493千円	0千円	18,038千円	市民生活部 商工・観光課
猪名川花火大会事業	15,921千円	9,493千円	0千円	25,414千円	市民生活部 商工・観光課
知明湖キャンプ場管理運営事業	13,645千円	0千円	0千円	13,645千円	市民生活部 商工・観光課
知明湖活用推進事業	4,187千円	9,493千円	0千円	13,680千円	土木部 公園緑地課

### 【施策評価指標】

評価指標		実績値					目標値
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 観光客入込数	指標値	2,098千人	1,995千人				2,200千人
	定義/方向性	兵庫県観光客動向調査より/増やす					
	所管	市民生活部 地域活性化室 商工・観光課					
2 川西市を訪れたいと思う圏域住民の割合	指標値		84.0%				70.0%
	定義/方向性	アンケート調査より/増やす					
	所管	企画財政部 政策推進室 政策課					



## 施策別 行政サービス成果表

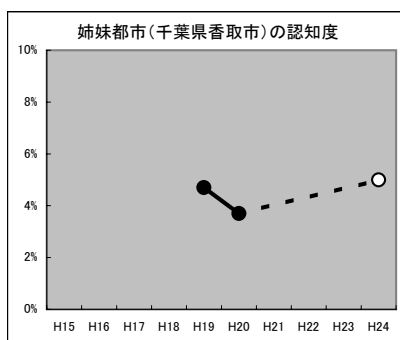
分野	05 産業活力		H20	H21	H22	H23	H24	合計
施策	03 観光	コスト 合計	9,946千円					9,946千円
目標	02 姉妹都市等との交流を深めます。							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	20年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国内交流事業	453千円	9,493千円	0千円	9,946千円	市民生活部 文化・国際交流課

### 【施策評価指標】

評価指標		実績値					目標値
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
1 姉妹都市(千葉県香取市)の認知度	指標値	4.7%	3.7%				5.0%
	定義/方向性	市民実感調査より/高める					
	所管						



# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	商工振興事業			決算書頁	300
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

商工業者の健全な発展による経営の安定と技術の改善発達を図る

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	17,435	17,182	253	一般財源	17,432	16,682	750
内 事業費	17,435	17,182	253	国県支出金	3	500	497
内 職員人件費			0	地方債			0
内 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考 職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	商工振興事業	細事業事業費	17,435
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市内商工業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	市内商工業者		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内商工業の活性化、経営の安定のための各種改善普及事業に取り組む商工会に対し補助を行った。</li> <li>本市産業を市内外にPRすると共に社会的・文化的拠点となるような活力あるまちづくりを目指して行う「川西まつり」に対し同実行委員会への補助を行った。</li> <li>産業ビジョン推進委員会を開催し、本市の産業振興方策について、現在の本市の取組み状況を踏まえた意見交換会を行った。</li> </ul>		



## 5. 事業の成果

川西市商工会による経営改善普及事業内容(平成20年度)

市の小規模事業者の経営相談など個別相談の充実と、少人数制の講座により実務性、実践性のある経営改善普及事業を行った。

講習会	回数	参加者	地域力連携拠点事業	回数	参加者
・ 起業支援セミナー	5回	参加者 17名	専門指導員等による個別相談	5回	10名
・ 経営・経理講習会	10回	参加者 149名	・ 経営	5回	6名
・ パソコン関連	8回	参加者 55名	・ 労務	5回	6名
・ 金融関連	2回	参加者 18名	・ 取引	10回	13名
・ 労務関連	6回	参加者 86名	・ 金融	1回	43名
			・ 税務	5回	108名

記帳指導員による相談・指導 3回 305名

その他、経営指導員による相談・指導、金融あっせん、事務の代行、小規模事業施策普及事業など

### 川西まつり

第2回目は、前回よりバージョンアップし、盛りだくさんの内容で構成。

新たに「働くクルマと遊びのゾーン」を設け、市内産業(事業所)の紹介を行った。

商業者と農業者が協力することで、子どもには、スタンプラリーや能勢電鉄のミニ電車運行。大人には、新鮮野菜の即売会など家族全体で楽しめる構成だったため中心市街地でのピックアップイベントとなり街の活性化に繋がった。

#### 川西まつり来場者数

平成19年度(第1回目)	25,000人
平成20年度(第2回目)	25,000人

### 「川西市産業ビジョン」

昨年度の提言を受け、本市産業振興施策の事業内容を明確にし、産業ビジョン推進委員会で報告し、意見交換を行った。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

本市産業を取り巻く状況は、従前からの後継者問題や、全国的な経済危機等も加わり厳しい状況が続いている。経営改善普及事業に対する支援継続により、地域事業者の意識改革を図り、地域商業の衰退を食い止める必要がある。

活力のあるまちづくりに向けては、団体が協力し合い街を盛り上げるための事業を側面的に支援する必要があり、産業振興方策の検討・提言は必要不可欠である。

本市における産業を取り巻く状況は未だ厳しい状況にあり、また各中小企業者においても、後継者問題等、抱える問題も後を絶たない。そのような中で、本市の地域活性化を進めるうえで、市民はもとより、地元中小企業者の自助努力による経営改善に向けた意識改革を進める必要があり、そのためには引き続き経営改善普及事業を行う必要がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	中小企業支援事業			決算書頁	300
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

中小商工業者の経営基盤の確立及び地域商業の活性化
--------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	190,690	173,329	17,361	一般財源	30,391	31,402	△ 1,011
内 事業費	171,704	154,125	17,579	国県支出金			0
内 職員人件費	18,986	19,204	△ 218	地方債			0
内 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考 職員数(人)	2	2	0	特定財源(その他)	160,299	141,927	18,372
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	中小企業支援事業	細事業事業費	7,301
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市内商工業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	事業所数1,071 従業員数8,602人(平成19年商業統計調査より)		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活性化を目的として商店街団体が開催するイベント事業に対し、事業費の補助を行った。</li> <li>○ 工業者が販路拡大を目的として行う見本市等に対し、補助を行った。</li> <li>○ 川西市商工会と共催で市内の事業者(経営者、従業員)を対象に「川西経営塾」を開催し、商品陳列方法や販売促進方法、人材育成方法等について、各分野別講師による経営改善に向けた指導を行った。</li> <li>○ 地域活性化や地域力向上に向けて、地域の商店街に出前講座を行い、各事業者の意識改善等に努めた。</li> <li>○ 相談のあった市内の個店に対し、経営コンサルタントを派遣しマンツーマンのきめ細やかな指導による各個店経営改善に努めた。</li> </ul>		
〈細事業2〉	中小企業融資あっせん事業	細事業事業費	164,403
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内に事業所をもつ中小企業者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	債務者163人 債務残高443,540,675円(平成20年4月1日現在)		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業融資あっせん制度取扱金融機関に対し預託を行い、市内中小企業者の事業資金が円滑に提供されるように努めた。</li> <li>○ 県信用保証協会に融資に伴う保証料を一部を補助することで、借入者の負担軽減に努めた。</li> <li>○ 県保証協会に対し、代位弁済に伴う損失補償を行った。</li> </ul>		

## 5. 事業の成果

### 中小企業支援事業

- イベント支援・・・市内各商店街団体が地域商業活性化に向け、各自創意工夫したイベントを継続開催したことで、地域に賑わいが生まれた。
- 見本市等出展補助・・・見本市等における出展・出品は、工業者の販路拡大に向けては大変有効な手段であり、市の側面的支援により出展を継続することで自社製品のPRし、新分野の顧客の開拓に繋がった。
- 「川西経営塾」・・・販売促進方法や人材育成方法等、個店の魅力づくり、業績アップに繋がる専門コンサルタントによる講座は実践に結びつく等の高評価を得た。
- 出前講座・・・商店街団体に出席講座として勉強会を開催した、商店街の活性化や一体感が生まれ、各事業者の意識改革になったとの好評を得た。
- 個店指導は実績ある経営コンサルタントが直接お店を訪問し指導するため、事業者の実情に沿ったきめ細やかな経営指導が行われると評価を得た。

	申請件数	補助金額
地域商業活性化事業費補助金	16件	2,547千円
見本市出展事業費補助金	1件	95千円

	回数	参加者
川西経営塾	8回開催	66人
地域勉強会(出前講座)	1回開催	20人
個店指導	3回開催	



### 融資あっせん事業(融資件数)

	17年度	18年度	19年度	20年度
申込件数(件)	44	44	55	73
申込金額(千円)	194,200	192,900	342,650	389,575
承諾件数(件)	27	29	42	51
承諾金額(千円)	99,800	111,700	240,800	195,400

保証料負担件数と金額 : 41件 4,096,222円 (平均99,908円)

代位弁済発生件数 : 10件 (うち損失補償額 1件 480,000円) ※損失補償額はH21.7月支払い予定

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

### 事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

- ・ イベントは、地域力が低下した現在において商業者が地域と交わる絶好の機会であり、地域力向上、地域活性化に繋げるためにも支援を継続し、地域との交流を広げていく必要がある。
- ・ 「川西経営塾」「個店指導」「出前講座」については、周知方法については改善の余地があるが、全国的な経営危機の中、自助努力で経営を維持する自店や商店街にとって、個店の魅力作りや技術力の向上のための側面的支援として継続する必要がある。
- ・ 融資あっせん事業は、経済危機の影響を直に受けている中小企業者にとって安定した経営の為に円滑な資金繰り手段のため継続を必要とするが責任共有制度除外資金の代位弁済等リスクが高くなる可能性がある。

《参考》平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等  
 地域活性化補助事業(イベント補助)について、今後は地域コミュニティを巻き込む等、各々の取り組みが融合する形で活性化する等、仕組みを模索する必要がある。  
 「川西経営塾」及び地域商店街団体を対象とする「出前講座」は年々活気を見せている。今後は周知方法等、まだまだ改善の余地があるため、様々な方法を用い利用者や希望団体を募る方策を検討していく。  
 融資あっせん事業について、平成19年10月1日からの「責任共有制度」導入により、各金融機関における貸し渋りが発生。市の対応策として、従来の保証協会100%保証となる新規資金を創設したが、代位弁済によるリスクを伴う課題がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	中心市街地活性化推進事業			決算書頁	302
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	まちづくり部 市街地・空港周辺整備課	作成者	参事 近藤 修一		

## 2. 事業の目的

中心市街地の活性化の推進
--------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		20年度	19年度	比較	財源		20年度	19年度	比較
		総事業費	18,938	18,444			494	一般財源	18,478
内訳	事業費	9,445	8,842	603	国県支出金	460	1,200	740	
	職員人件費	9,493	9,602	109	地方債			0	
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0	
	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0	
参考	再任用職員数(人)			0					

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	中心市街地活性化推進事業	細事業事業費	5,745
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市民及び商業関係者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	川西市中心市街地 約86ha		
(3)概要	<p>・中心市街地活性化法の改正に伴い、平成19年度に作成した「川西市中心市街地活性化基本計画」の大臣認定について、内閣官房中心市街地活性化本部及び国土交通省、経済産業省と協議を行った。また、中心市街地の活性化を推進するため、川西市中心市街地活性化協議会に対して、川西市中心市街地商業活性化助成金を交付し、中心市街地の活性化に向けた事業及び中心市街地活性化協議会の運営に対する支援を行った。</p> <p>・主な内容</p> <p>「川西市中心市街地活性化基本計画」大臣認定のための関係省・局との事前協議            かわにし能勢口にぎわいプロジェクトへの参画            川西能勢口周辺商業活性化事業の支援            再開発ビルのリニューアルについての技術的支援            中心市街地活性化協議会の運営支援</p> <p>・中心市街地活性化事業の今後の流れ</p> <div style="text-align: center;"> </div>		
細事業2	再開発ビルリニューアル支援事業	細事業事業費	3,700
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	株式会社パルティ川西		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	1社		
(3)概要	<p>・老朽化が進むパルティ川西のリニューアル事業を支援した。</p>		

## 5. 事業の成果

- 平成19年度 川西市中心市街地活性化基本計画作成
- 平成20年度 川西市中心市街地活性化基本計画大臣認定のための事前協議

### かわにしTMOの主な活動

- 平成17年8月6、7日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約4,000人)
- 平成18年8月5、6日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約4,000人)
- 平成18年12月22、23日 かわにし能勢口まつり協賛(参加延人数 約1,000人)
- 平成19年3月3、4日 かわにし能勢口にぎわいプロジェクト「かわにし朝市」主催(参加延人数 約500人)
- 平成19年3月31日 かわにし能勢口にぎわいプロジェクト「アステかわにし繁昌亭」主催(参加人数544人)
- 平成19年6月30、7月1日 かわにし朝市(参加延人数 約2,000人)
- 平成19年8月25、26日 ジャムホップカーニバル(参加延人数 約1500人)
- 平成19年9月9日 かわにし朝市(参加延人数 約1,000人)
- 平成19年12月2日 かわにし朝市(参加延人数 約500人)
- 平成19年12月19～25日 光のオブジェ展(3会場で開催 観覧者多数)
- 平成17年度 かわにしのせぐちおでかけMAP【史跡・施設編】増刷(20,000部)
- 平成17年度 川西能勢口周辺商業活性化支援事業検討調査(県・市補助)
- 平成17年度 区分所有による再開発ビル再生のための検討調査(国補助)
- 平成18年度 かわにしのせぐちおでかけMAP【グルメ編】発行(30,000部)
- 平成18年度 川西能勢口周辺商業活性化支援事業検討調査(市補助)
- 平成19年度以降 川西市中心市街地活性化協議会運営に対する支援



かわにし朝市



ジャムホップカーニバル

### 川西市中心市街地活性化協議会の主な活動

- 平成19年8月7日 第1回中心市街地活性化協議会(設立総会)開催
- 平成19年9月18日 第2回中心市街地活性化協議会開催
- 平成19年10月31日 第3回中心市街地活性化協議会開催
- 平成19年11月27日 第4回中心市街地活性化協議会開催
- 平成19年12月20日 第5回中心市街地活性化協議会開催
- 平成20年1月30日 第6回中心市街地活性化協議会開催
- 平成20年3月7日 第7回中心市街地活性化協議会開催
- 平成20年6月26日 第8回中心市街地活性化協議会開催
- 平成20年12月16日 第9回中心市街地活性化協議会開催



中心市街地活性化協議会  
設立総会

### 再開発ビルリニューアル支援事業

再開発ビルのパルティ川西で施設部分のトイレ改修サインの新設など住宅部分とあわせてリニューアル工事が行われた。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

全国の地方都市における中心市街地の空洞化によるにぎわいの喪失と経済活動の低迷により、都市再生の動きが活発に行われる中、本市においても国の多彩な支援を受けるために「川西市中心市街地活性化基本計画」の大臣認定に関する協議を進めている。  
平成21年度は、早期に内閣総理大臣の基本計画認定を受けるとともに、計画区域内の地域関係者や関係団体が連携して衰退する中心市街地におけるにぎわいを取り戻し、持続する取り組みを実施していく。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

中心市街地活性化法の改正を受けて、平成12年度に策定した「川西市中心市街地活性化基本計画」を平成19年度に見直した。  
国の多様な支援策を受けるためには、法律の規定により、新たに策定する基本計画については内閣総理大臣の認定を受ける必要があり、平成20年度中の認定を目指す。  
中心市街地活性化推進のための組織については、川西市商工会・かわにしTMO・第三セクターが中心となり、法律に基づく中心市街地活性化協議会を平成19年8月に設置し、中心市街地の総合的なまちづくりを推進する。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	定額給付金給付事業			決算書頁	312
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

市民の生活支援と地域の経済活性化
------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		20年度	19年度	比較	財源		20年度	19年度	比較
		総事業費	8,811	0			8,811	一般財源	0
内訳	事業費	8,811		8,811	国県支出金	8,811		8,811	
	職員人件費			0	地方債			0	
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0	
	職員数(人)			0	特定財源(その他)			0	
参考	再任用職員数(人)			0					

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	定額給付金給付事業	細事業事業費	8,811
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	平成21年2月1日現在において川西市に住居登録している者および外国人登録原票に登録されている者		
(2)対象世帯数(建設事業の場合は面積・延長等)	65,958世帯		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付額:給付対象者1人につき12,000円(ただし、平成21年2月1日において65歳以上の方と18歳以下の方は、20,000円)</li> <li>・申請及び給付までの流れ</li> </ul> <pre> graph TD     Citizen[市民] -- "申請書送付 (平成21年3月30日)" --&gt; City[市]     City -- "申請" --&gt; Citizen     City -- "受付、審査、給付決定、給付処理" --&gt; Citizen     Citizen -- "給付" --&gt; City     </pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付期間:平成21年3月31日～平成21年9月30日</li> </ul>		

## 5. 事業の成果

平成21年2月1日 定額給付金等対策チーム設置(職員6人体制)

- ・定額給付金案内通知の作成
- ・平成21年2月1日現在の給付対象者を抽出

平成21年3月30日 給付対象者が属する世帯の世帯主に申請書類送付(ただし、外国人は各給付対象者に対して送付)

平成21年3月31日 申請受付開始  
順調に事業遂行することができた。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	A	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

給付完了件数を100%に近づけるべく、今後当該制度の周知徹底と未申請者に対する申請勧奨通知を行う。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	林業振興事業			決算書頁	296
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 農林・労政課	作成者	課長 田口 弘高		

## 2. 事業の目的

森林の保全に向けた森林ボランティアの育成支援等のため
----------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	122	119	3	一般財源	122	119	3
内:事業費	122	119	3	国県支出金			0
内:職員人件費			0	地方債			0
内:公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考:職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	林業振興事業	細事業事業費	122
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	森林ボランティア団体		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	川西里山クラブ48名・牧の台緑の少年団18名		
(3)概要	<p>森林ボランティアグループの活動に対して助成金を交付した。</p> <p>〔川西里山クラブの活動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所:川西市黒川地区(妙見ケーブル山上付近)</li> <li>・活動内容:里山保全活動(間伐、下刈り):里山利活用(コナラの間伐材を利用したシイタケ栽培、薪の確保)</li> <li style="padding-left: 20px;">:一般市民との交流(黒川里山まつり参加)</li> </ul> <p>〔牧の台緑の少年団の活動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所:平木谷公園・黒川地区の里山など</li> <li>・活動内容:植物観察や育樹作業、炭焼き体験など</li> </ul>		



## 5. 事業の成果

森林ボランティアグループ(川西里山クラブ)の活動に対して助成金を交付した。

	17年度	18年度	19年度	20年度
助成金(円)		51,000	51,000	51,000
登録会員数(人)		42	41	48
活動実績(回)		24	38	30
参加延人数(人)		375	544	494

森林ボランティアグループ(牧の台緑の少年団)の活動に対して助成金を交付した。

	17年度	18年度	19年度	20年度
助成金(円)			36,000	36,000
登録会員数(人)			14	18
活動実績(回)			12	11
参加延人数(人)			74	116

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

【課題や改善できる点】

川西里山クラブについては、会員の高齢化などの問題もあり、若い新しい会員の参加が必要で、PR面に力を入れるよう協力していく。緑の少年団については、団員が増えつつあることから組織体制の強化のため何ができるか考える必要がある。

【21年度以降の見通し】

平成21年度以降についても、森林を保全するために、森林ボランティアグループの活動等を助成・支援する。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

【課題や改善できる点】

森林を保全するために、森林ボランティアグループの活動等を引き続き助成・支援する体制が必要である。

【20年度以降の見通し】

平成20年度以降についても、森林を保全するために、森林ボランティアグループの活動等を助成・支援する。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	農業振興事業			決算書頁	296
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 農林・労政課	作成者	課長 田口 弘高		

## 2. 事業の目的

米の需給安定対策、農産物の地産地消等の推進のため
--------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較	
総事業費	26,249	31,213	4,964	一般財源	25,566	28,992	3,426	
内訳	事業費	7,263	12,009	4,746	国県支出金	480	2,018	1,538
	職員人件費	18,986	19,204	218	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)	2	2	0	特定財源(その他)	203	203	0
参考	再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	水田農業構造改革事業	細事業事業費	623
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市内農家者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	451戸		
(3)概要	米の需給安定対策のため、生産調整を関係機関の協力を得て実施した。		
細事業2	農業振興推進事業	細事業事業費	6,640
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内農家者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	451戸		
(3)概要	各種農業団体で構成する川西市農業振興研究会に助成を行い、農林業特産物の品質・技術向上のため品評会を開催した。 農業生産物等の流通改善と特産物の消費拡大を図るため、即売会を実施し地産地消を広く市民にPRした。		

## 5. 事業の成果

米の需給安定対策のため、生産調整を関係機関の協力を得て実施した。

	17年度	18年度	19年度	20年度
生産目標面積(ha)	85	79	78	75
生産目標実績(kg)	418,657	391,906	390,832	372,000
配分対象農業者(人)	640	625	617	614

各種農業団体で構成する川西市農業振興研究会に助成を行い、農林業特産品の品質・技術向上のため品評会を開催した。

	17年度	18年度	19年度	20年度
品評会開催(回)	4	4	5	5

品評会は、果菜(イチジク・栗・そ菜・林業特産物・ハウス果菜)の5回開催した。

農業生産物等の流通改善と特産物の消費拡大を図るため、即売会を実施し地産地消を幅広く市民にPRした。

	17年度	18年度	19年度	20年度
即売会開催(回)	6	6	7	7
即売会来客数(人)	2,550	2,640	2,750	2,800

即売会は、植木(春・秋)・桃・イチジク・栗・そ菜・林業特産物の7回開催した。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

### 【課題や改善できる点】

農業従事者の高齢化に伴い、農地(生産緑地)の保全と担い手育成対策が急務である。農家の経営所得安定対策のため、地産地消の推進を図る必要がある。また、遊休農地の解消に、農業委員会や県と連携して対策に取り組む必要がある。

### 【21年度以降の見通し】

平成21年度以降についても、農業振興を図るために、JA兵庫六甲農業協同組合と連携しながら今後も農業団体に対し助成・支援する必要がある。安全・安心な国内産が目玉される中、地場産農作物の持つ強みを活かし、これまでの朝市や直売所の課題を抽出し、それらに対応した支援を行っていく必要がある。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

### 【課題や改善できる点】

農業従事者の高齢化に伴い、農地(生産緑地)の保全と担い手育成対策が急務である。農家の経営所得安定対策のため、地元農産物の地産地消の推進を図る必要がある。

### 【20年度以降の見通し】

平成20年度以降についても、農業振興を図るために、JA兵庫六甲農業協同組合と連携しながら今後も農業団体に対し助成・支援する必要がある。農産物の地産地消推進のために、朝市や直売所を整備する必要がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	農業用施設改良事業			決算書頁	298
分野	05 産業活力	施策	01 産業		
所管室・課	市民生活部 農林・労政課	作成者	課長 田口 弘高		

## 2. 事業の目的

ため池の安全対策、及び農業用水の安定的な供給を図るため
-----------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	15,143	7,737	7,406	一般財源	13,253	5,847	7,406
内 事業費	15,143	7,737	7,406	国県支出金			0
内 職員人件費			0	地方債			0
内 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考 職員数(人)			0	特定財源(その他)	1,890	1,890	0
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	農業用施設改良事業	細事業事業費	15,143
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	生産組合員(水利組合員)		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	30地区		
(3)概要	<p>未改修及び老朽化している水路等の改良事業に要する費用の補助を5地区にて行った。</p> <p>(1) 平野1丁目地内農業用施設(水路)改良工事 U字側溝工(B=500mm) L=87.15m</p> <p>(2) 矢間2丁目地内農業用施設(矢間川倒伏堰)新設工事 倒伏堰設置工1.0式(幅 B=4,500mm、高さ H=1,700mm)</p> <p>(3) 加茂5丁目地内農業用施設(農道補修)応急改良工事 舗装工 延長 L=32.4m、幅 B=2.5m</p> <p>(4) 山原1丁目地内農業用施設(水路)応急改良工事 側溝工 延長 L=3.6m</p> <p>(5) 笹部3丁目地内農業用施設(猪谷池サイホン管)応急改良工事 サイホン管置工(VP = 100mm)L=27.0m</p> <p>ため池に防護柵を設け水難事故防止に要する費用の補助を2地区にて行った。</p> <p>(1) 久代3丁目地内農業用ため池安全対策(下池フェンス設置)工事 フェンス修繕工(H=1,500mm)施工延長 L=131.6m</p> <p>(2) 東多田地内農業用ため池安全対策(石保谷池他フェンス設置)工事 フェンス修繕工(H=1,500mm~1,800mm)1.0式</p>		

## 5. 事業の成果

未改修及び老朽化している水路等の改良事業に要する費用の補助を行った。

	17年度	18年度	19年度	20年度
農業用施設改良	3	3	3	5

ため池に防護策を設け水難事故防止に要する費用の補助を行った。

	17年度	18年度	19年度	20年度
ため池安全対策	3	1	2	2

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

### 【課題や改善できる点】

農業用施設を改修する場合、工事費用の1/2相当額を地元が負担することとなるため、未改修及び老朽化したまま放置された農業用施設が多数ある。農地の減少及び農業従事者の高齢化、担い手不足により、ため池の維持管理が困難な状況となっている。ため池について事故が発生し管理されている組合に対して、賠償責任が発生した場合のため池施設賠償保険の加入を推進する。

### 【21年度以降の見通し】

平成21年度以降についても、農業用施設の適正な維持管理のため、地元生産組合(水利組合)と連携しながら対応する。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

### 【課題や改善できる点】

農業用施設を改修する場合、工事費用の1/2相当額を地元が負担することとなるため、未改修及び老朽化したまま放置された農業用施設が多数ある。農地の減少及び農業従事者の高齢化、担い手不足により、ため池の維持管理が困難な状況となっている。

### 【20年度以降の見通し】

平成20年度以降についても、農業用施設の適正な維持管理のため、地元生産組合(水利組合)と連携しながら対応する。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	労働相談事業			決算書頁	288
分野	05 産業活力	施策	02 労働		
所管室・課	市民生活部 農林・労政課	作成者	課長 田口 弘高		

## 2. 事業の目的

パート就労及び高年齢者就労に関する求人・求職活動への支援
------------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
		総事業費	20,431	196,749		176,318	一般財源	16,521
内訳	事業費	7,917	7,915	2	国県支出金			0
	職員人件費			0	地方債		176,859	176,859
	公債費	12,514	188,834	176,320	特定財源(都市計画税)			0
参考	職員数(人)			0	特定財源(その他)	3,910	3,951	41
	再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	労働相談事業	細事業事業費	7,917
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	主に市民		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	伊丹公共職業安定所の出先機関として、パート及び高年齢者就労に関する求人・求職情報の提供を行った。		

## 5. 事業の成果

### ・川西パートバンク

項目	H17	H18	H19	H20
来所者数	17,715	17,994	17,990	23,147
新規求職者数	1,315	1,435	1,524	1,837
採用件数	401	472	482	533

### ・川西市高齢者職業相談室

項目	H17	H18	H19	H20
来所者数	7,205	6,672	5,155	5,198
新規求職者数	557	594	562	607
採用件数	205	213	205	193

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

<p>事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて</p> <p>【課題や改善できる点】            社会経済の低迷により、昨年末より雇用情勢が厳しくなっており、パートバンクへの来所者数が増加傾向にある一方で、新規求人数が減少している。そこで、21年度では、労働者実態等調査業務を行う際に求人の新規開拓を行い、採用件数増加に取り組む。</p> <p>【21年度以降の見通し】            雇用情勢は今後も厳しくなることが予想されるため、本事業のPRに努め、利用者拡大を図る。</p>	<p>(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等</p> <p>県下の経済・雇用情勢は、企業の業況判断に慎重さがみられるとともに、新規求人数が減少するなど、一部で減速しているものの、依然として個人消費は底堅く、全体的には緩やかな拡大傾向にあることから、今後、来所者数が逡減し、採用件数は逡増することが推測される。</p> <p>本事業についてのPRをさらに強化し、利用者拡大に努める。</p>
---	---

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	労働者支援事業			決算書頁	288
分野	05 産業活力	施策	02 労働		
所管室・課	市民生活部 農林・労政課	作成者	課長 田口 弘高		

## 2. 事業の目的

勤労者支援及び就労支援
-------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較	
総事業費	50,043	52,754	2,711	一般財源	25,455	25,806	351	
内訳	事業費	31,057	33,550	2,493	国県支出金			0
	職員人件費	18,986	19,204	218	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)	2	2	0	特定財源(その他)	24,588	26,948	2,360
参考	再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	労働者支援事業	細事業事業費	6,677
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市内在住または在勤者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>就労支援事業として、市内在住または在勤者を主対象に、専門カウンセラーによるキャリアカウンセリング、また労使間トラブルの解決の場として労働相談、各種セミナーを実施。</p> <p>市内中小企業で働く従業員の福利厚生支援として、中小企業勤労者福祉サービスセンター(パセオかわにし)において、健康管理事業や慶弔給付事業、各種チケットのあっせんを実施。</p> <p>産業保健推進事業として、市内事業所のうち従業員50人未満の小規模事業所の従業員を対象に、市保健センターで健康診断を実施。</p>		
細事業2	勤労者住宅資金融資あっせん事業	細事業事業費	24,380
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	市内に自ら居住する住宅を建築し、または購入しようとする勤務者 ほか		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>昭和53年度に、勤労者の持家促進を支援するための住宅融資あっせん制度として発足させたが、平成15年度に新規貸付を終了しており、現在は返済及び残高に応じた預託のみを行っている。</p>		



## 5. 事業の成果

・キャリアカウンセリング及び労働相談の利用者数 \* ( )内はのべ相談回数

項目	H17	H18	H19	H20
キャリアカウンセリング	44(81)	48(89)	63(123)	59(131)
労働相談	17(18)	28(29)	17(19)	16(17)

・川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター会員数及び利用者数

項目	H17	H18	H19	H20
事業所数	115	112	112	110
会員数	2,218	2,033	1,874	1,907
自主事業参加者数	438	422	392	319
健康管理事業利用者数	1,215	1,187	1,254	1,184
各種チケットあっせん枚数及び給付件数	4,078	4,050	4,024	3,267

・産業保健推進事業

項目	H17	H18	H19	H20
申込事業所数	41	41	38	38
受診者数	341	324	354	395

・勤労者住宅資金融資あっせん制度 \* 返済状況(H21.3月末)

貸付年度	件数	債務残高(円)	預託額(円)	預託倍率
4	3	7,911,056	1,977,764	1/4
5	5	20,019,167	5,004,792	1/4
6	1	5,808,809	1,452,202	1/4
7	5	21,473,269	5,368,317	1/4
9	4	17,216,542	3,443,308	1/5
10	1	4,176,683	835,337	1/5
11	2	6,464,641	1,292,928	1/5
12	3	15,653,928	3,130,785	1/5
合計	24	98,724,095	22,505,433	-

22,500,000

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

<p>事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて</p> <p><b>[課題や改善できる点]</b>            雇用情勢悪化を受けてキャリアカウンセリングのニーズが高まってきていることから、さらに、川西パートバンクとの連携強化と本事業のPRに努める。</p> <p><b>[21年度以降の見通し]</b>            勤労者住宅資金融資貸付件数は残り24件で、平成37年度に終結予定。(25年返済)</p>	<p>(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等</p> <p>キャリアカウンセリングは、川西パートバンクと連携をとることにより確実に利用者数を伸ばしているが、相談内容が本来の事業趣旨と離れた人生相談等に終止するケースも見受けられるため、今後さらに就職につなげる工夫が必要である。</p> <p>勤労者住宅資金融資貸付件数は残り24件で、平成37年度に終結予定(26年返済)</p>
---	--

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	観光推進事業			決算書頁	308
分野	05 産業活力	施策	03 観光		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

本市の歴史や芸術・文化の発信により観光振興を図る

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較	
	総事業費	14,762	11,431		3,331	一般財源	14,762	11,431
内訳	事業費	1,327	1,829	△ 502	国県支出金			0
	職員人件費	13,435	9,602	3,833	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
参考	再任用職員数(人)	1		1				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	観光推進事業	細事業事業費	1,327
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	全市民および来街者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	全市民および来街者		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>池田市と合同で猪名川大橋のライトアップを行い、広域的なPRを行った。</li> <li>来街者が観光イベント等に楽しく参加できるよう、ハイキングコースの清掃や整備を行った。</li> <li>園田競馬に「名称付市町特別競争」へ協賛する等、様々な機会、媒体を用い本市のPRを行った。</li> <li>源氏のふるさと大使による本市の特産品(いちじくワイン、いちじく茶)や観光情報のPRを行った。</li> <li>大阪国際空港で、阪神北泉民局と伊丹市、宝塚市、三田市、猪名川町の4市1町で1ブースを1ヶ月間借り上げ、特産品販売や各市町の観光等リーフレットの配布により、観光PRを兼ねた市町の情報発信と空港の活性、集客を図る事業を行った。</li> <li>観光事業の育成発展と観光行政の健全な推進を図るため、川西市観光協会へ補助金支出を行った。</li> <li>兵庫県とJRグループのタイアップによる「あいたい兵庫デスティネーション プレキャンペーン冬」を開催した。</li> </ul>		

## 5. 事業の成果

### ○猪名川大橋ライトアップ実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18回	11回	8回	7回	10回	10回	9回	12回	12回	11回	9回	10回	127回

・年間127回のライトアップを行い、府県境に架かる猪名川大橋(ビッグハープ)の広域的なPRを行った。

### ○源氏のふるさと大使(一般公募者の委嘱期間5年、著名人は期限なし)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	計
公募者	4人	3人	3人	2人	0人	12人
著名人	2人					2人

※21年度で事業見直しのため20年度は公募せず

・観光大使の名刺配布や、いちじく茶の施茶等を積極的に行ってもらい、川西市の紹介を実施した。

### ○阪神北地域インフォメーション(観光物産フェア)

	18年度	19年度	20年度
開催日	9/30~10/30	10/16~11/15	11/1~11/30
来場者数	9,572人	12,672人	11,019人

※30日間のうち6日間を川西市の特設フェアとして開催。

・空港利用者等に、阪神北地域(川西市・伊丹市・宝塚市・三田市・猪名川町)の魅力を広くPRできた。

### ○あいたい兵庫デスティネーション プレキャンペーン冬

名称	「多田神社の秘宝公開」
開催期間	平成20年12月1日~平成21年2月28日
訪問者数	399人

・キャンペーン冊子等を通じて、「源氏のふるさと川西」を広くPRできた。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5~3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

今後とも、本市の豊かな自然や歴史的資源、特産品等を有効に活用し、川西市のイメージアップとともにPRに努める。あわせて、費用対効果の観点で事業の点検を行う。

《参考》平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

今後とも、本市の豊かな自然や歴史的資源、特産品等を有効に活用し、川西市のイメージアップとともにPRに努める。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	イベント支援事業			決算書頁	310
分野	05 産業活力	施策	03 観光		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

歴史的・文化的資源を活用し「清和源氏発祥の地 川西」を広くPRする

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	18,038	18,141	103	一般財源	17,327	18,141	814
内訳	事業費	8,545	8,539	6	国県支出金		0
	職員人件費	9,493	9,602	109	地方債		0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)		0
	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)	711	711
参考	再任用職員数(人)		0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	川西市源氏まつり	細事業事業費	5,030
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市民及び来街者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	40,000人		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「清和源氏発祥の地 川西」を市内外にPRすることを目的とし、多田神社周辺での懐古行列を中心としたイベントを、市観光協会と共催で実施した。</li> </ul>		
細事業2	川西おもろ能	細事業事業費	3,065
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	小学4年生以上の市内外の申込者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	621人		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神間でも、野外での開催は本市のみとなっている「薪能」を、毎年10月の第1土曜日に、けやき坂中央公園内の石舞台「おもろ座」において開催し、市内外へ伝統文化の発信を行った。</li> </ul>		
細事業3	川西歩ラソン王国	細事業事業費	450
(1)対象者(建設事業の場合は所在地)	年齢を問わず市内外の申込者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	1,994人		
(3)概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年秋に、市の歴史的資源が残る場所をポイントとした「歩ラソン」(スタンプラリー)を実施し、川西の歴史や観光地を市内外にPRした。</li> </ul>		

## 5. 事業の成果

### 源氏まつりの観覧者数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度
開催日	4月10日(日)	4月9日(日)	4月15日(日)	4月13日(日)
入場者数	40,000人	43,000人	40,000人	40,000人

午後からの懐古行列に先駆けて、阪急川西能勢口駅隣接の「アステ川西びいばう広場」において、源氏武者と三御前によるパンフレット配布や、特設ステージにおいて「ミニイベント」を行い、PRに努めた。また、姫役選考会や、写真コンクールにおいて、市内外から多数の応募があった。

### おもしろ能の観覧者数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度
開催日	10月1日(土)	10月7日(土)	10月6日(土)	10月4日(土)
入場者数	767人	633人	738人	621人

毎年、国際交流協会からの留学生等に加え、19年度より高齢者福祉の「お出かけ促進事業」に協力し、高齢者を招待する等、多くの方に古典芸能(文化)の発信を行った。また、今年度から会場内で「川西おもしろ能参加協力金」の募金活動を行い、57,535円が集まった。



### 歩ラソンの参加者数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度
開催日	10月29日～11月6日	10月28日～11月5日	10月27日～11月4日	10月25日～11月3日
入場者数	1,181人	1,493人	1,544人	1,994人

平成17年度より開催期間を1週間に延ばし、実行委員随同行のモデルコースと、自由に個人でまわるコースを設定したことで、参加者のニーズにあった方法となり参加者が増加した。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

- ・源氏まつりは企業協賛金が減っており、事業内容の総点検を行い経費削減の検討を行う。
- ・おもしろ能は、参加協力金がさらに集まるよう募金方法を検討する。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

市民のニーズが高い事業であるため、各イベントとも毎年開催方法を検討し、内容を更に充実させ、継続して開催していく。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	猪名川花火大会事業			決算書頁	310
分野	05 産業活力	施策	03 観光		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

歴史的合同イベントによる多くの来訪者に本市をPRする
----------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較	
総事業費	25,414	25,355	59	一般財源	25,414	25,355	59	
内訳	事業費	15,921	15,753	168	国県支出金			0
	職員人件費	9,493	9,602	109	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
参考	再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	猪名川花火大会事業	細事業事業費	15,921
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市内外の来場者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	45,000人(川西側)		
(3)概要	<p>昭和23年から始まり、平成20年度で第60回目の開催となった猪名川花火大会。毎年趣向を変え、4,000発の花火を打上げた。来訪者から好評で、11万人の観客が会場に集まった。</p>		
			

## 5. 事業の成果

花火大会観覧者推移

(単位:人)

	17年度	18年度	19年度	20年度
観覧者(川西側)	中止	45,000	45,000	45,000
観覧者(池田側)		60,000	70,000	65,000
観覧者(合計)		105,000	115,000	110,000

JR事故により中止



## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	A	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

事故なく安全に観覧いただく花火大会であるべく、安全対策が課題。

近年、経費が上昇しており、21年度は20年度支出内容の総点検を図り、経費削減の実施が課題となる。

(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

毎年、所轄の川西警察及び兵庫県警の現地実査で、観覧者の安全対策の強化に対する要望が増加。(応援職員の増員、川西側観覧場所における防犯カメラの設置、各警備エリアの境界線の設置、緊急通路の確保等。)

池田市との共催でもあり、市民の要望も高いイベントのため、継続に向けて運営面の見直し等、整備の必要がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	知明湖キャンプ場管理運営事業			決算書頁	312
分野	05 産業活力	施策	03 観光		
所管室・課	市民生活部 商工・観光課	作成者	課長 大南 孝二		

## 2. 事業の目的

野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進と地域の振興に資する。

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	13,645	13,227	418	一般財源	8,761	7,958	803
内: 事業費	13,645	13,227	418	国県支出金			0
内: 職員人件費			0	地方債			0
内: 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考: 職員数(人)			0	特定財源(その他)	4,884	5,269	385
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	知明湖キャンプ場管理運営事業	細事業事業費	13,645									
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	知明湖キャンプ場利用者											
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	10,508人											
(3)概要	<p>・青少年および市民がより身近に自然体験活動・野外活動を実施する機会を提供した。</p> <p>使用期間 3月26日～10月31日                      休業日 火曜日 ただし火曜日が祝日の場合は翌日休業                      使用時間 日帰り/午前9時～午後5時                      宿泊/初日の午後2時～4時までに入場、最終日の午後1時までに退場。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日帰り</th> <th>宿泊(1泊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生以下</td> <td>150円</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>高校生以上</td> <td>300円</td> <td>600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>寝具使用料(1人1回)600円                      テント持ち込み泊は、宿泊料金の半額</p>			区分	日帰り	宿泊(1泊)	中学生以下	150円	300円	高校生以上	300円	600円
区分	日帰り	宿泊(1泊)										
中学生以下	150円	300円										
高校生以上	300円	600円										



## 5. 事業の成果

知明湖キャンプ場利用者数

(単位:人)

	17年度	18年度	19年度	20年度
川西市	4,815	4,436	4,963	4,392
川西市以外	5,414	5,060	5,622	5,032
全額免除	646	723	998	1,084
合計	10,875	10,219	11,583	10,508



## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

施設の老朽化対策を含め、長期的な整備・修繕計画の策定など、指定管理者である(財)一庫ダムリゾートセンターとともにサービスの充実や利用者の増加の対策を図る必要がある。

(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

施設の老朽化対策を含め、長期的な整備・修繕計画の策定など、指定管理者である一庫ダムリゾートセンターとともにサービスの充実や利用者の増加の対策を図る必要がある。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	知明湖活用推進事業	決算書頁	316
分野	05 産業活力	施策	03 観光
所管室・課	土木部 公園緑地課	作成者	課長 元井 悦夫

## 2. 事業の目的

<b>知明湖周辺の各施設の維持管理を行う</b>
--------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	13,680	13,784	104	一般財源	13,680	13,784	104
内 訳	事業費	4,187	4,182	国県支出金			0
	職員人件費	9,493	9,602	地方債			0
	公債費			特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)	1	1	特定財源(その他)			0
参考	再任用職員数(人)						

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<b>&lt;細事業1&gt;</b>	知明湖周辺施設維持管理事業	細事業事業費	4,187
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	知明湖周辺の国崎せせらぎ地区・龍化渓流地区・出合なぎさ地区		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	知明湖周辺の施設管理		
(3)概要	<p>国事業の一庫ダム湖活用環境整備事業により整備されたダム湖周辺のトイレほか施設の維持管理、除草及びゴミ収集等を財団法人一庫ダムレイクリゾートセンターに委託して行った。</p>		

## 5. 事業の成果

ダム湖周辺の環境維持、また、施設の維持管理により、ダム湖周辺を訪れた人々に良い印象を与えたと思われる。



国崎せせらぎ地区

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	A	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

ダム湖周辺を訪れた人々が快適に利用できるよう、ダム湖周辺の施設の維持管理等を今後とも適正に行う。

(参考) 平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

ダム湖周辺を訪れた人々が快適に利用できるよう、ダム湖周辺の施設の維持管理等環境維持に努める。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	国内交流事業			決算書頁	132
分野	05 産業活力	施策	03 観光		
所管室・課	市民生活部 文化・国際交流課	作成者	課長 上松 充彦		

## 2. 事業の目的

姉妹都市等との交流による友好、親善の促進
----------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	20年度	19年度	比較	財源	20年度	19年度	比較
総事業費	9,946	10,022	76	一般財源	9,946	10,022	76
内訳	事業費	453	420	33	国県支出金		0
	職員人件費	9,493	9,602	109	地方債		0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)		0
	職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)		0
参考	再任用職員数(人)						

## 4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	国内交流事業	細事業事業費	453
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市民		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>千葉県香取市(旧佐原市)との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年8月1日に、旧佐原市(平成18年3月27日、合併により香取市)と姉妹都市提携し、源氏まつりや佐原の大祭などの時期を中心に相互の市民訪問等をおとして、交流を図っている。</li> </ul> <p>「全国川西会議(ネットかわにし)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「川西」という名のもと、お互いが連携意識を高めるとともに、共同してまちの資源や特質を活かし、住民や行政など幅広い分野での交流をおとして、相互に豊かなまちづくり目指すため、平成9年11月10日に設立された。</li> <li>例年の総会等の開催をおとして、構成市町の交流を図っている。</li> <li>[平成10年11月19日「災害応急対策活動の相互支援に関する協定」を締結]</li> </ul>		

## 5. 事業の成果

(姉妹都市 香取市)

- ・姉妹都市の千葉県香取市とは、広報紙などの情報交換をとおして交流を図った。
- ・川西市国際交流協会で、香取市の特産品「紅アズマ」を斡旋販売し、香取市の紹介に努めた。

(「全国川西会議(ネットかわにし)」)

- ・全国川西会議(ネットかわにし)の総会が開催された新潟県十日町市で、構成市・町の相互のまちづくりや交流について協議するとともに川西市の紹介(写真パネル展示等)に努めた。

## 6. 事業の評価(評価者:担当部長)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)

9・8点:A、7・6点:B、5～3点:C

## 7. 今後の方向性、見通し等

事業遂行上の課題や改善できる点、21年度以降の見通しについて

- ・市民間交流の機会の拡充を検討し、交流の継続を図る。
- ・平成21年4月に香取市長・議長を源氏まつりに招待している。
- ・平成22年度に香取市との姉妹都市提携20周年を迎える。

(参考)平成19年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

- ・市民交流の拡充を検討し、交流の継続を図る。

